

中津市教育委員会

〒871-8501
中津市豊田町14番地3
TEL：0979-22-1111
FAX：0979-22-1492
（体育保健課）

1 実施内容（体制・計画・活動・対象・主な内容等）

- (1) 中津市体力向上検討委員会設置要綱を以下のように平成21年度・平成22年度と1年ごとに設置し、実施している。（掲載している設置要綱は、平成21年度のものである。）

中津市体力向上検討委員会設置要綱

（目的及び設置）

第1条 中津市における子どもの体力向上施策の改善や学校における体育・健康に関する指導の改善の具体的な内容等を検討するため、中津市体力向上検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（組織）

第2条 委員会は、別表1に掲げる委員をもって組織し、委員は中津市教育委員会教育長が参画依頼し、任命する。

2 委員会に委員長をおく。委員長は、学識経験者の中から中津市教育委員会教育長が指名する。

3 委員長は委員会を代表し、会務を総括する。

4 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指定した委員がその職務を代理する。

5 目的の内容に関する専門的な事項を調査・研究するため、委員会の下に専門部会を置くことができる。

（任期）

第3条 委員の任期は、任命した日から翌年の3月31日までとする。

（会議）

第4条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 会議は第2条に規定する委員の他、必要に応じて会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聞くことができる。

（庶務）

第5条 委員会の庶務は、中津市教育委員会学校教育課において処理する。

（その他）

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附則 この要綱は、平成21年8月10日から施行する。

*別表1に掲げた委員長は、有識者（大学教授）、委員は、県・市教育委員会関係者、小・中学校体育部会の会長及び部長、モデル校の校長・研究主任・体育専科教員である。

*年度ごとに設置要綱同様に事務局規定も作成している。

- (2) 中津市体力向上検討委員会（以下、「委員会」という。）を年3回、2年間で計6回を実施する。

主な検討内容としては、前年度の体力・運動能力調査等の結果分析・モデル校の実践報告を通して研究の成果と課題・体力向上についてなどである。

2 実施上で工夫したこと

- (1) 有識者を招聘する。
- (2) 体育専科教員の活用による効果の検証を委員会で取り組む。
- (3) 体育専科教員未配置校への体力向上の取組支援を行う。

3 周知・拡充の方策

- (1) モデル校の体育専科教員以外の教員の指導力の向上のため、体育専科教員の役割と TT による体育授業の充実を図る。
- (2) 子どもを惹きつけるスポーツ環境づくり・指導方法および研究の成果等を市内全体に拡充するため、積極的に公開授業等を設定する。
- (3) 中津市では、平成22年度より、幼・小・中の連携教育を推進している。今後、小・中連携会議や積極的な小・中学校の乗り入れ授業等を通して小・中一貫した体育授業の充実を図る。

4 主な成果

- (1) 附属幼稚園をもつ大学の教授（委員長）をはじめ、幼・小・中学校の関係者からなる委員会のため、あらゆる角度（子どもの実態）から分析・検討することができた。
- (2) 委員会で検討するだけでなく、同委員会メンバーで、モデル校の授業研等に参加することで、より現状を把握することができた。
- (3) 毎回モデル校に実践報告をしてもらうことで、子どもの変容（運動に対する意識や体力等）を知るとともに、教師の変容（指導力の向上等）も知ることができた。

* 体育専科教員の導入により、学校全体の体育授業をスムーズに運営することができるようになった。（単元の設定・準備の効率化・用具の管理）その結果として、児童の運動量の確保や児童の満足感が得られたと考える。

* 体育専科教員と TT による体育授業を行うことで、体育専科教員以外の教員の指導力がかなり向上することがわかった。



中津市体力向上検討委員会の様子

別府市教育委員会

〒874-8511
別府市上野口町1番15号
TEL：0977-21-1111
FAX：0977-22-5100
（スポーツ健康課）

1 実施内容（体制・計画・活動・対象・主な内容等）

- (1) 体育科・保健体育科年間指導計画を見やすいように1枚にまとめ（各学年・月ごと）、4月当初に提案する。3月には、各学年の実施状況を把握し、次年度への計画作成に生かすようにする。
- (2) 授業開始時（3～5分）に校庭の遊具等を使用するサーキットトレーニングを計画し、4月当初に提案する。3月には、各学年の実施状況を把握し、次年度へ向けて内容等を見直す。
- (3) 体づくり運動実技講習会を3年間実施する。
- (4) 体育専科教員活用モデル校（南小）の提案授業（TT授業）を実施する。
- (5) 体力向上講演会（講師：宮崎大学教育文化学部 教授 品田 龍吉 氏）を開催する。

2 実施上で工夫したこと

- (1) 体育科・保健体育科年間指導計画については、小学校では、2学年単位で関連づけて計画すること。
- (2) サーキットトレーニングについては、各学年の発達段階に応じた内容にすること。
- (3) 体づくり運動実技講習会については、3年間で先生方が参加しやすい時に一度は参加すること。

3 周知・拡充の方策

- (1) 体育主任会において、体力向上を図る上での年間指導計画作成と見直し（計画通りに学習を進めていくことや学習内容の系統性）、サーキットトレーニングの必要性についての話し合いをした。
- (2) 体育専科教員活用モデル校（南小）の提案授業には、小・中学校の体育主任会及び体育部会員の参加を促した。
- (3) 体づくり運動実技講習会を3年間実施することを校長会で周知し、本年度は、別府教育事務所の小学校体育実技指導者講習会と兼ねて実施した。

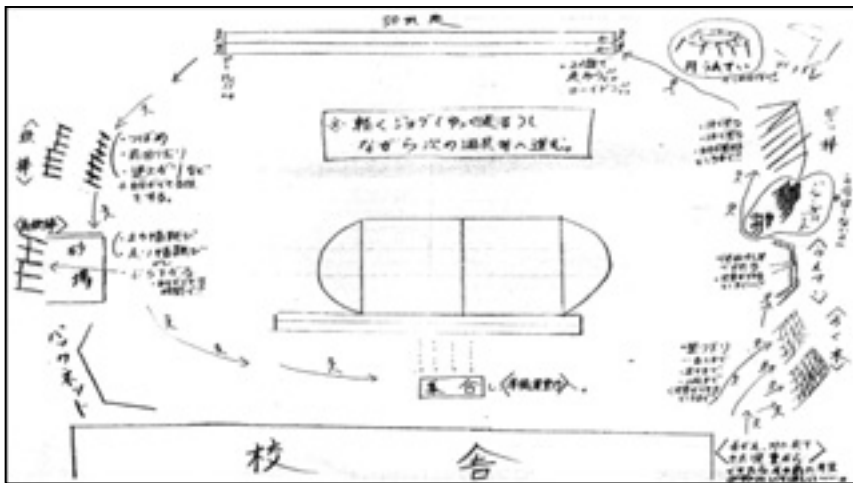
4 主な成果

- (1) 体づくり運動実技講習会では、参加した先生方が指導方法等を楽しく学ぶことができた。
- (2) 体育専科教員活用モデル校（南小）の提案授業後の事後研では、同校の先生方から体育授業の充実に役立っているとの話があり、体育専科の有効性を再認識することができた。
- (3) 体力向上講演会には、学校長や体育主任の先生方が多数参加し、体づくり運動の授業構想や教科外体育の実践例等の話があり、これからの体力向上の取組の一助となった。

学年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
3年	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び
4年	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び
5年	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び
6年	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び	陸上競技 走り幅跳び



体育科・保健体育科年間指導計画
一目でどの学年がいつ、どんな内容の学習をしているのかがわかるように、1枚の表にまとめ、学校内で配布または掲示している。



サーキットトレーニングメニュー表

準備運動前のアップを兼ねて行き、施設・用具を活用しながら、学年に応じた回数などで体を動かす。



第1回別府市体づくり運動実技講習会

(本年度は別府教育事務所の小学校体育実技指導者講習会と兼ねて実施)
午前中は、講師による講義。昼からは、体ほぐしの運動を通し、準備運動を兼ねて行い、ゆったりと体をほぐすことから始めた。
多様な動きをつくる遊び(運動)では、2人～4人組で息を合わせて体を動かし、ボールやフラフープ、体操棒等の用具を使った運動もした。



大分市教育委員会

〒870-8504
大分市荷揚町2番31号
TEL：097-537-5979
FAX：097-538-4800
（スポーツ・健康教育課）

1 実施内容（体制・計画・活動・対象・主な内容等）

○体育専科教員活用モデル校への訪問

- ・子どもの体力向上への取組状況についての話し合い
- ・体育専科教員による授業の参観と意見交換

○体力向上指導者研修会（コーディネーショントレーニング）

- ・小・中学校の教職員対象に実施
- ・2日間、4会場にて実施
- ・研修内容は、「講義」と「実技」の大きく2つに分けて実施
 - * コーディネーショントレーニングは、指導内容の定着を図るための手だての一つとして考え、各領域の運動の特性に応じた内容を精選して取り入れる。

2 実施上で工夫したこと

○「コーディネーショントレーニング」に関して

- ・「NPO 法人日本コーディネーション協会」の事務局長をはじめ、公認講師と十分に協議を重ね実施に向けて計画した。
- ・対象者を学校現場で子どもと向き合っている小・中学校教職員とし、学年の早い段階からの児童生徒への指導をねらった。
- ・多くの受講者を受け入れるため、会場を2箇所に分け、2日間の日程（2回実施）で実施した。

3 周知・拡充の方策

○「コーディネーショントレーニング」に関して

- ・大分市内全小・中学校に実施要項を配布し、1ヶ月前には参加状況を把握した。
- ・研修会の中でも、資料の提供やお知らせ、関連行事等を確認した。

4 主な成果

○体育専科教員活用モデル校訪問に関して

- ・モデル校の取組状況やその充実度が十分把握できた。
- ・体育専科教員のかかわりや学校での役割が把握できた。
 - * 今後、モデル校の取組の成果をいかに他の学校に広げ、役立ててもらえるかを検討していくことが課題と考える。

○「コーディネーショントレーニング」に関して

- ・まだ知名度は低いものの、研修参加者からは好評で、「授業への導入を考えている」といった意見も多かった。今後、学校間や職員間での広がり期待がもてる。
 - * 今後は、各学校の授業への導入を視野に入れ、広がりや深まりに向けた取組を検討していく。

(1) 体育専科教員活用モデル校への訪問



25mに挑戦！〈1〉
しっかり息をして！



25mに挑戦！〈2〉
肩をつかって大きく



クロールで25m
何回25mいけるかな

(2) 体力向上指導者研修会（コーディネーショントレーニング）



コーディネーショントレーニング〈講義〉
右手・左手で別の動きをしてみよう



コーディネーショントレーニング〈実技〉
リズム化能力を高めるトレーニング



コーディネーショントレーニングとは

- ・40年程前、旧東ドイツで考案されたトレーニング理論。
- ・「神経」→「筋」をはじめとする、運動の協応的機能を開発・改善することを目的としたトレーニング。
- ・7つのコーディネーション能力を位置づけている。
「バランス能力」「反応能力」「リズム化能力」「分化能力」「定位能力」「連結能力」「変換能力」
これらいずれの能力も、個々に単独で成り立つものではなく、相互に複雑に関係し合って発揮されるものであり、必ずしも固定されたものではない。目的や対象によって異なるものと捉えている。

佐伯市教育委員会

〒876-0853
佐伯市中村東町6番9号
TEL：0972-22-4670
FAX：0972-24-0231
（学校教育課）

1 実施内容（体制・計画・活動・対象・主な内容等）

- 体力向上検討委員会の実施
構成員 ・ 小学校校長代表 ・ 小学校教頭代表 ・ 体育専科教員
・ 栄養教諭 ・ 佐伯市体育保健課スポーツ振興係関係者 ・ 教育委員会関係者
内容 ・ 佐伯市における小学校児童の体力・運動能力調査結果の分析
・ 子どもの体力向上策の検討、決定
・ 佐伯市体力向上講演会の開催計画等立案
- 佐伯市体力向上講演会の開催
目的 子どもの体力低下が社会問題となっており、その解決に向けての取組が求められている。そこで、佐伯市小学校教員を対象に佐伯市体力向上講演会及び体育専科教員活用モデル校実践発表会を行うことで、その解決策を探るとともに実践的指導力の向上を図る。
内容 講演会 大分大学教育福祉科学部准教授 藤田 敦 氏
実践発表 体育専科教員活用モデル校
- 佐伯市体力向上実技講習会の開催
目的 子どもの体力低下が社会問題となっており、その解決に向けての取組が求められている。そこで、佐伯市立幼稚園、小・中学校教職員を対象に佐伯市体力向上実技講習会を行うことで、参加教職員の実践的指導力の向上を図るとともに、幼児児童生徒の体力向上に係る解決策を探ることを目的に開催する。
内容 コーディネーショントレーニングの手法を用いた体育指導について
- 佐伯市の児童生徒の体力向上に向けての啓発活動
内容 佐伯ケーブルテレビを通じての体力向上の取組の放映等

2 実施上で工夫したこと

- (1) コーディネーショントレーニングを推進している佐伯市（体育保健課）と連携した学校における体力向上プランの作成及び実施
- (2) 学校・保護者・地域が一体となり、児童生徒の体力向上を進めるための啓発活動
- (3) さいき「まなび」プラン（佐伯市長期総合教育計画）と関連させた取組の推進

3 周知・拡充の方策

- (1) 佐伯市体力向上講演会による佐伯市内全小学校への啓発普及
- (2) ケーブルテレビを活用した教育情報番組による市民への啓発活動

4 主な成果

- (1) 佐伯市の進める体力向上プラン（コーディネーショントレーニング）を取り入れた各学校での体力向上の取組が行われるようになった。
- (2) 体育専科教員のもつ専門的な知識が小学校の体育の授業で十分生かされ、児童の体力向上につながっていた。

《佐伯市体力向上実技講習会》

(1) 基礎理論講習会



幼稚園教員講習
「感覚と運動能力について」



小・中学校合同講習
「7つのコーディネーション能力」

(2) 実技講習



幼稚園児に適した「コーディネーション運動(あそび)」
について (幼稚園教員対象)



体育の授業に生かせる「コーディネーショントレーニング」
について (小・中学校教員対象)

《保護者・地域と連携した体力向上の取組》

～佐伯市教育委員会体育保健課主催キッズ・ジュニアコーディネーション運動教室～



佐伯市では、幼少期から運動に楽しく取り組むことで「自分の体を巧みに動かすことができるとともに、運動の楽しさを味わえる子ども」の育成をめざし、保護者や地域のスポーツ指導者と連携した取組を進めています。

豊後大野市教育委員会

〒879-7401
豊後大野市千歳町新殿706番地 1
TEL：0974-22-1001
FAX：0974-22-6828
（学校教育課）

1 実施内容（体制・計画・活動・対象・主な内容等）

(1) 推進体制（検討委員会）8名 実施校校長、体育専科教員、小学校体育部会長・事務局、中学校体育部会長・事務局、学校教育課長、指導主事

(2) 計画

- ①第1回体力向上検討委員会の開催
- ②大分県学校体育研究推進校公開研究会への参加（緒方小）体育担当等
- ③体育専科教員活用モデル校の授業参観
- ④下期スポーツ選手活用体力向上事業（清川中）
- ⑤第2回体力向上検討委員会の開催

2 実施上で工夫したこと

- (1) 研究会等への積極的な参加を促し、教師の指導力の向上を図った。
- (2) いろいろな事業を活用し、体力向上に努めるように依頼した。
- (3) 教師がいろいろな活動をさせていない現状があった。1日1回は、子どもたちに汗をかかせる取組を実践するために、「動ける子どもをつくる」を合言葉に、学習過程の工夫や施設、道具等の活用について研究を進めていくことを確認した。
- (4) 市内の児童生徒の体力や学力を向上させるための方策として、『「みんなで食事」の時間をつくりましょう。』という取組を家庭と協力して進めている。

3 周知・拡充の方策

- (1) マット運動や跳び箱運動の指導を苦手としている教職員が多かったので、体操教室の講師を招いて児童を交えた実技講習会を実施した。
- (2) 市教振の小・中学校体育部会と協力して、取組を進めている。

4 主な成果

- (1) 体育専科教員活用モデル校では、鉄棒、ボール遊び等の日常化が図れた。
また、家庭での話題に体力や体育等の話題が多くなってきた。
- (2) 体育の授業改善に向け、取組を進めている。
- (3) 体力とともに、学力や徳育のバランスのとれた子どもを育成するための教職員の意欲化につながった。

1 実技講習会



ヘッドスプリングの模範演技
実技講習会（跳び箱運動）



後転の手のつき方
実技講習会（マット運動）



2人組でのジャンケン
実技講習会（準備運動）

2 公開研究会について



県学校体育研究推進校公開研究会 緒方小学校
マット運動（後転）

3 体育専科教員の活用について



体育専科教員活用モデル校の授業参観 三重第一小学校
ソフトバレーボール（6年2組）

4 各種事業について



下期スポーツ選手活用体力向上事業 清川中学校
バレーボール スパイクの練習とレシーブの練習風景



日田市教育委員会

〒877-0012
日田市淡窓1丁目1-1
TEL：0973-22-8221
FAX：0973-22-8270
（学校教育課）

1 実施内容（体制・計画・活動・対象・主な内容等）

（1）組織

委員長：学校教育課長
保護者代表：桂林小育友会長
教職員代表：桂林小研究主任
地域代表：桂林校区体育指導委員
教職員代表：桂林小体育専科教員
事務局：学校教育課体育担当指導主事

（2）主な内容及び対象

- ①平成21年7月2日（木） 第1回体力向上検討委員会（対象）日田市体力向上検討委員
- ②平成21年10月29日（木） 第2回体力向上検討委員会（対象）日田市体力向上検討委員
- ③平成21年11月22日（日） 食育講演会開催（対象）児童・保護者・教職員
 - 内容 「望ましい食習慣の形成と子どもの体力向上」
 - 講師：福岡市立愛宕小学校 教諭 稲益 義宏 氏
- ④平成22年2月17日（水） 実技指導者講習会（対象）小・中学校教員
 - 内容 「体づくり運動を中心とした総合的な運動能力の向上」
 - ～多様な動きをつくる運動（遊び）を通して～
 - 講師：山崎フィットネス研究所 所長 山崎 陽二 氏
- ⑤平成22年3月11日（木） 第3回体力向上検討委員会（対象）日田市体力向上検討委員

2 実施上で工夫したこと

（1）組織・体制づくり

・教職員だけでなく、保護者や地域の代表に委員に加わっていただき、学校・家庭・地域が一体となって、日田市の児童生徒の体力向上に取り組む体制づくりを行った。

（2）多方面からのアプローチ

・保護者向けの「食育講演会」や教職員向けの新学習指導要領完全実施を念頭に入れた「体づくり運動」に関する「実技講習会」の実施など、児童生徒の総合的な体力が育つようそれぞれの役割について自覚を促した。

3 周知・拡充の方策

（1）桂林小との連携

・「体育専科教員活用モデル校」である桂林小学校と連携して、「食育講演会」や「実技講習会」を開催し、その際、桂林小学校の取組を参加者に周知した。

（2）情報の共有と組織的対応

・「平成21年度全国体力・運動能力等調査」の結果をもとに、校長会・教頭会で課題を共通認識し、学校を挙げて組織的に取組を進めるよう各学校へ依頼した。

4 主な成果

- （1）学校（今年度は桂林小学校）を中心として、保護者・地域・教育委員会が現状や方向性について共通認識をもって取り組めるようになった。
- （2）具体的な実践例を各学校へ周知し、具体的な取組に反映できた。
- （3）保護者に「食生活」について具体例を挙げながら、家庭における基本的な生活習慣の重要性について直接啓発する機会を設けることができた。

《食育講演会》



お弁当のおかずを食材として
見直す。



親子でいっしょに学んだり、
考えたりする貴重な体験でした。



稲益先生のお話は、具体的で
とても参考になりました。

《体育実技講習会》



山崎先生は、日常から公民館等で幼児から
高齢者を対象に、運動の楽しさを教えています。



参加された先生方の「楽しみながら学ぶ」姿勢は、
即、授業づくりに生かされるものでした。



運動の楽しさを味わえるとともに、多様な動きを
実感できる実践的な講習会でした。



ボールを使った動きづくりも、一工夫するだけで、
いろいろなバリエーションができます。